

令和元年9月20日
帯広開発建設部

噴火に備えた防災体制の強化を図ります

～雌阿寒岳火山噴火危機管理演習の実施について～

帯広・釧路・網走開発建設部は、周辺自治体、北海道、気象台などと連携し噴火時の役割や防災活動に関する危機管理演習を下記のとおり実施しますのでお知らせします。

雌阿寒岳は、釧路市と足寄町に跨がった火山であり、平成30年11月23日に噴火警戒レベルが2（火口周辺規制）に引き上げられるなど活発な活動を示し、その後現在はレベル1ですが、火山防災上における防災体制の強化拡充が必要な状況となっています。

記

- (1) 日時 : 令和元年9月25日(水) 机上訓練 13時00分から16時30分まで
令和元年9月26日(木) 現地視察 9時30分から12時00分まで
- (2) 場所 : 初日 釧路市幸町10丁目釧路合同庁舎
釧路開発建設部 庁舎5F第1共用会議室
2日目 阿寒湖温泉除雪ステーション(集合場所)
- (3) 訓練内容 : 机上訓練 噴火レベルに応じた役割及び時系列を議論し、地図上に整理すべき情報を洗い出し情報基盤図の基を作成します。
現地視察 雌阿寒岳周辺の現地視察を行います。
- (4) その他 : 取材につきましては、机上訓練中は随時、取材可能となっています。
なお、2日目については、9時30分までに集合場所へお越し下さい。
大雨等により防災体制をとる必要がある時は、中止となる場合があります。

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 帯広開発建設部 (0155-24-4105)

治水課

課長

桑村 貴志

上席治水専門官

川井 淳一

帯広開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/ob/index.html>





出典 国土地理院